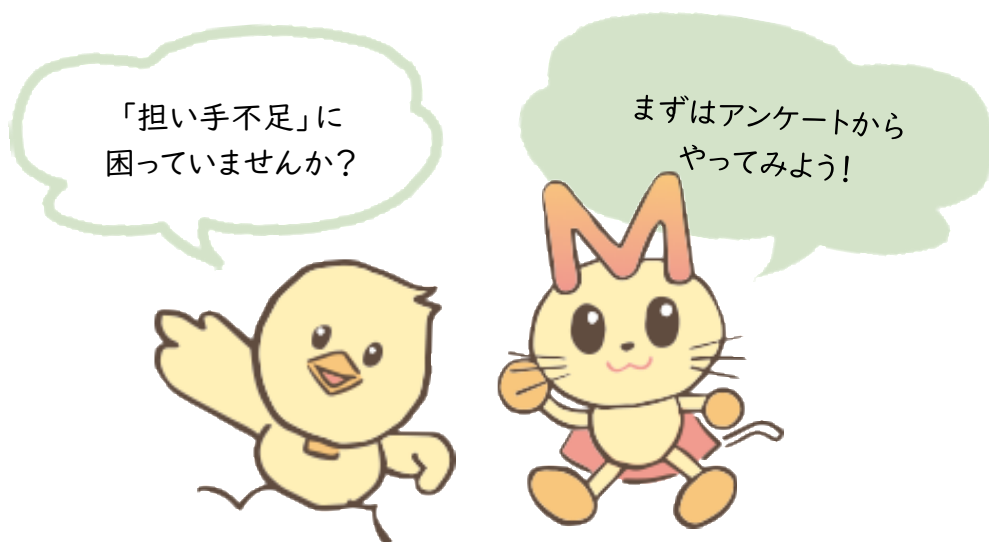


担い手不足 —アンケートの実施—



目次

- 1 担い手不足の現状
- 2 アンケートから始めよう
- 3 アンケートをいかそう
 - (1) サポーターの仕組みをつくろう
 - (2) 活動や体制を見直そう



「町内会の担い手不足」は全国的な課題です。

札幌市の町内会でも、
役員の手が不足していると感じている町内会は9割以上。
そう、みんなが悩んでいます。

町内会活動で、現役世代や若者の声は聞こえてきますか？

役員年代は70代以上で構成されていませんか？

…残念ながら、担い手不足にすぐ効く特効薬はありません。

でも、**今、できることはあります！**

この冊子を見ながら、ぜひ一緒に取り組んでみてください。

【冊子のテーマ】

「アンケート」の実施から、担い手確保につなげよう

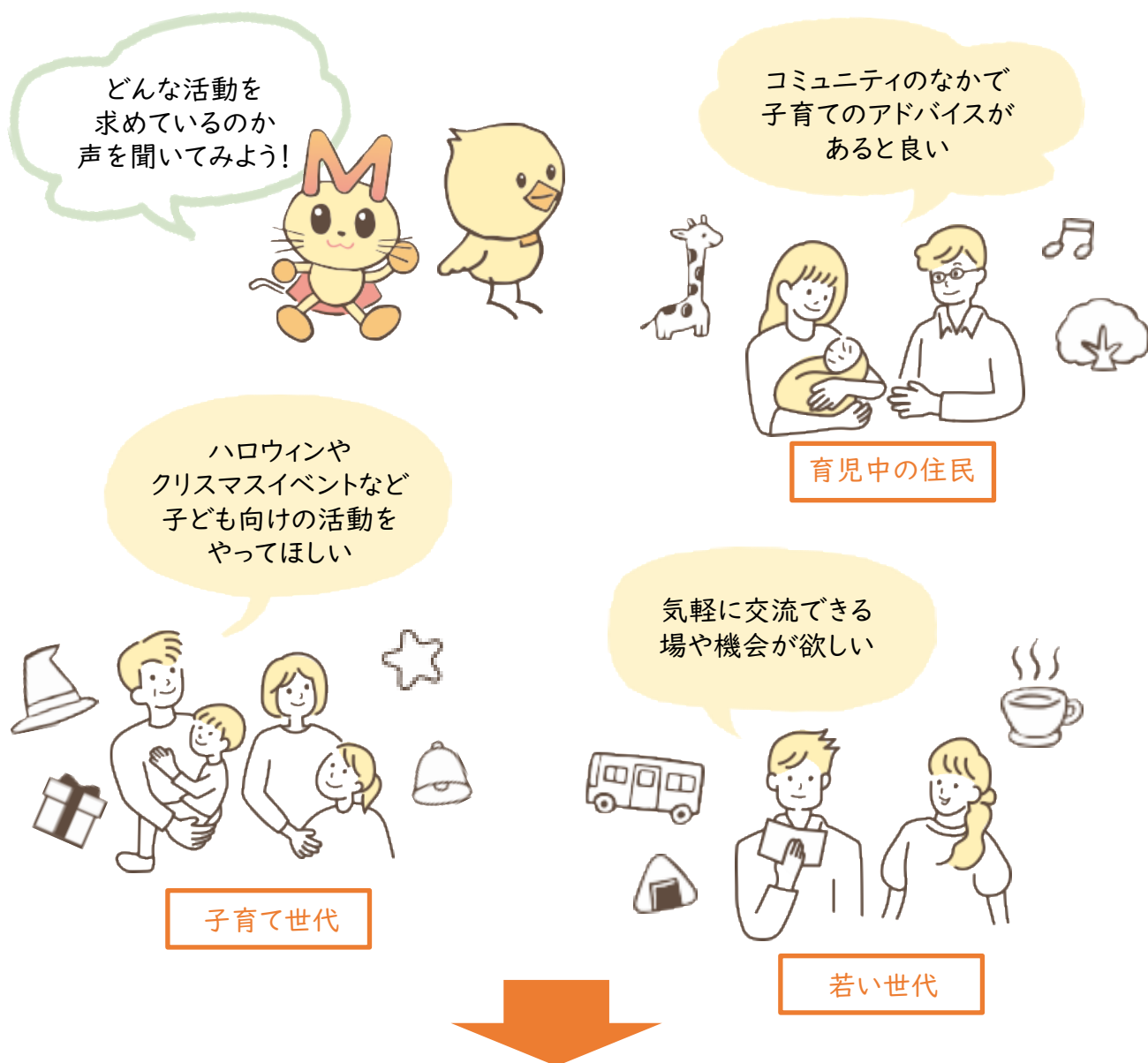
手伝ってくれる人材は9割以上の町内会で見つかり、
見つからなくても、絶対に無駄にはなりません

1. 担い手不足の現状

気づいていますか・・・担い手不足の背景

担い手不足の背景の1つとして、町内会の多くが高齢化社会のなかで、高齢者向けの活動が多くなってしまっていることがあげられます。

一方で、育児中の住民や子育て世代、中学生や高校生、若い世代も地域コミュニティを求めています。



これからの町内会運営では、幅広い住民ニーズに対応した活動を行い、「必要性を実感してもらえること」が大切です!



まずはあなたの町内会をチェック!

該当すると思ったら をつけてね!

- 役員は70代以上の人だけで構成されている
- 役員の入替わりが少ない、または、結果的にそうなっている
- 町内会の活動がマンネリ化している
- 町内会活動において、現役世代や若者から話を聞くことが少ない
- 新しい役員をお願いするとき、知り合いにだけ声をかける
- 若い世代にも町内会活動を担って欲しいと思いつつ、活動は高齢者向けが多い

(下図に年間スケジュールを書き出して、実際に確かめてみましょう)

やってみよう

work

参加者層を
考えてみよう。
たとえば
クリスマス
イベントの
主な参加者は
「子ども」かな?



月	行事	主な参加者
4	(例) 総会	(例) 役員や班長
5	清掃/健康体操	住民全体/高齢者
6...	パークゴルフ大会	高齢者...
4月		
5月		
6月		
7月		
8月		
9月		
10月		
11月		
12月		
1月		
2月		
3月		



1つでも がついたなら、まずは「アンケート」から始めてみましょう!

2. アンケートから始めよう

インタビュー

住民アンケートを行ったことで
若い世代の役員候補とサポーターが見つかりました！

白石区菊水元町第4町内会 伊藤会長

Q. 住民アンケートをやってみていかがでしたか？

A. サポーターとして7名の方からお名前をいただき、うち2名の方からは役員をやってもよいと言っていたことは、喜ばしいことでした。
また、行事や活動に対する会員の皆さんの考えや思いなど、現状把握が出来てよかったと思います。



アンケートは、こんなことができます！

町内会の課題の共有

普段、回覧版は詳しく
みていないけれど
アンケートならみられます

いろいろな
発見ができそう！

ニーズの把握

住民の町内会への
ニーズがわかります
ニーズ対応した活動へ
つなげることができます

担い手の発掘

役員が知らない
新たな人材が見つかります



活動の見直し

ニーズから活動の棚卸しや
組織の見直しを行います

アンケートをつくろう

アンケートの流れ

アンケートは、アンケートの目的、設問の検討から始まり、配布、回収、集計まで2ヶ月程度必要です。



1 アンケートの目的を決めよう

- 目的の例
- ・町内会の住民がどんな世代構成か、行事ごとのニーズが知りたい。
 - ・町内会が担い手不足で困っていることをみんなに知って欲しい。
 - ・もっと町内会の情報を伝えるにはどの方法が良いか知りたい。

2 アンケート票(調査票)を作成しよう

全部で
4~5ページが
目安

基本的な
アンケートの
設問例

- ・町内会の会員の属性など(年代、性別、世帯の構成など)
- ・参加したことのある活動
- ・今後も続けてほしい活動
- ・希望する情報発信方法(回覧板、掲示板、メール、SNSなど)
- ・町内会活動への参加やサポートについて
- ・自由意見

➡ 詳しくは次のページから!!

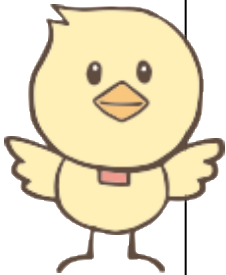
アンケート案内文をつけましょう



アンケートのサンプルは各町内会が自由にダウンロードして編集できるように、ホームページでデータを公表しています。ぜひご活用ください。

アンケートには、案内文を添えることで、アンケートの目的を知ってもらいます。

目的や方法を
わかりやすく
伝えましょう!



町内会の
課題を
明記します。

班長だと
回収率UP!
回答期限は
10日~2週間が
目安です。

〇〇町内会アンケートご協力をお願い

令和〇年〇月〇日

町内会の皆さまへ

平素から町内会活動にご協力をいただき、ありがとうございます。

〇〇町内会は、高齢化が進み、町内会役員や班長の担い手不足が大きな課題となっています。今後、町内会の役員の不足によりこれまで通りの活動が難しくなることも想定されます。また、町内会のひとつのつながりが弱くなりつつあり、災害時における助け合いなどが懸念されつつあります。

そこで、皆さまに町内会の課題を知っていただきながら、ご意見を伺いたくアンケートを実施させて頂くこととなりました。

アンケート結果につきましては、皆さまにお知らせいたします。

ご理解の上、ご協力のほどよろしくお願い致します。

なお、このアンケートは原則として無記名で行い、個人情報保護に十分配慮して取り扱いを行います。

■〇〇町内会の課題

- 高齢化に伴い役員や班長の担い手が不足している
- 顔の見える関係性が弱く災害時など助け合いが難しい

回答したアンケートは、本アンケートが入っていた封筒に入れて、●月●日

(●)厳守で班長宅のポストまで提出をお願いいたします。

右のQRコードからもアンケートに回答いただけます。



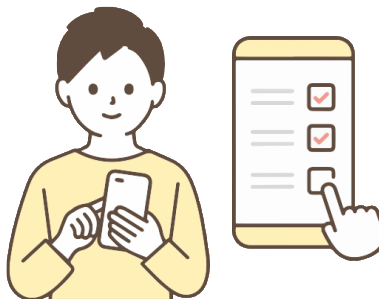
お問い合わせ先

〇〇町内会 会長

電話：090-●●●●-●●●● ※サンプル

スマートフォンで回答できるようにすることで回答率を高めることができます。

➡ 詳しくは19ページへ!



アンケート票 サンプル1



アンケートのサンプルは各町内会が自由にダウンロードして編集できるように、ホームページでデータを公表しています。ぜひご活用ください。

■アンケートのサンプル

問1 今後の活動・事業を考えるときの参考にするためにお聞きします。
ご家族構成について教えてください。(当てはまるところに人数を記入)
また、回答者さまの世代を右の()のところに○をつけてください。

回答者さまの世代

- | | | | |
|-------|-------|-------|-----|
| ①0～9歳 | 男(名) | 女(名) | () |
| ②10代 | 男(名) | 女(名) | () |
| ③20代 | 男(名) | 女(名) | () |
| ④30代 | 男(名) | 女(名) | () |
| ⑤40代 | 男() | | |
| ⑥50代 | 男() | | |
| ⑦60代 | 男() | | |
| ⑧70代 | 男() | | |
| ⑨80代～ | 男() | | |

回答者の世帯について問うことで、町内会の住民の状況の手がかりとなります。回答者の世代もわかるようになります。

問2 居住年数は何年ですか？(当てはまるところ1つに○をつけてください)

- ①1年未満 ②1～5年 ③5～10年 ④10年～15年
⑤11年～20年 ⑥20年以上

問3-A ここ5年以内に、町内会の活動や行事に参加したことはありますか？
(いずれか1つに○をつけてください)

- ①ある(問4へ) ②ない(問3-Bへ)

問3-B 問3-Aで「②ない」に○をつけた方のみにお聞きします。

参加できない(または、参加したくない)理由は何ですか？(当てはまるものすべてに○をつけてください)

- ①いつどのようなことが行われているか知らない(情報が届かない)
②地域活動に取り組む時間がない(曜日、時間が合わない)
③自分の仕事・用事を優先したい
④参加のきっかけがない(近所からのお誘いが無い)
⑤一人では参加しづらい
⑥内容が世代や家庭環境と合わない
⑦身体的負担感が大きい
⑧参加のメリットを感じない
⑨人との付き合いがわずらわしい
⑩その他()

なかなか把握できなかったことを教えてもらおう



アンケート票 サンプル2



アンケートのサンプルは各町内会が自由にダウンロードして編集できるように、ホームページでデータを公表しています。ぜひご活用ください。

問4 ○○町内会または連合町内会で行われている次の活動・行事について、それぞれお答えください。(当てはまる欄に1つずつ○をつけてください)

	活動・行事名	参加の経験		継続の意向		
		参加したことがある	参加したことがない	今後も継続して欲しい	今後継続の必要はない	わからない
	回答例) 春祭り		○			
連合町内会事業	①夏まつり					
	②文化祭					
	③ふれあいゲーム大会					
	④ウォーキング大会					
町内会事業	⑤敬老会					
	⑥防犯パトロール					
	⑦もちつき大会					
	⑧秋の収穫イベント					
	⑨○○公園の清掃					
	⑩ラジオ体操					

町内会活動へのニーズの設問です。町内会の行事について参加状況と継続の必要性について問うことで、活動の棚卸しの参考にします。

問5 ○○町内会では、顔が見える関係づくりのため、会員同士の交流を行う考えです。どのような企画・テーマであれば参加したいですか？(当てはまるものすべてに○)

- ①料理教室・お菓子づくり教室
- ②お茶会
- ③飲食店とタイアップした地域食堂
- ④コーヒー教室(淹れ方など)
- ⑤まち歩きスタンプラリー
- ⑥子育てサロン、子ども向けのイベント
- ⑦防災の訓練や勉強会
- ⑧健康づくり教室
- ⑨スマートフォン・SNSの使い方講座
- ⑩地域の歴史を学ぶ
- ⑪その他()

棚卸しのポイントは17ページへ!



活動への参加のきっかけを探る設問です。

アンケート票 サンプル3



アンケートのサンプルは各町内会が自由にダウンロードして編集できるように、ホームページでデータを公表しています。ぜひご活用ください。

運営の基本的な考え方に
関する
設問です。

問6 ○○町内会で顔が見える関係づくりのためには、どのような運営が良いと思いますか。(当てはまるものすべてに○)

- ①町内会全体をいくつかのブロックに分けて運営する
- ②マンションごとに連絡係をつくってもらう
- ③定期的な交流会を行う
- ④コミュニティの場を設ける(カフェなど気軽に集まれる場をつくる)
- ⑤サロンなど気軽に集まれる機会を設ける
- ⑥Facebook やLINE などを活用してつながりをつくる
- ⑦その他 ()

回覧板の
閲覧に
関する
設問です。

問7 ○○町内会では、町内会活動をお伝えするために回覧板で情報発信を行っています。回覧板はどのくらいご覧になっていますか。(当てはまるもの1つに○)

- ①回覧板は毎回しっかり見ている
- ②しっかりではないが内容はだいたい見ている
- ③必要な情報の時だけ見ている
- ④ほとんど見ていない・読んでいない
- ⑤まったく見ていない
- ⑥わからない



情報共有の
手段に
関する
設問です。

問8 現在、○○町内会の活動状況などを十分にお伝えできていない状況にあります。町内会の活動を皆さまに広くお知らせをお伝えする方法について便利だと思えるものを教えてください。(便利だと思えるもの3つまで○)

- ①回覧板 ②メール ③ホームページ
- ④Facebook ページ ⑤LINE などの SNS やグループチャット
- ⑥ゴミステーションに掲示板 ⑦わからない
- ⑧その他 ()



どんな方法だと会員に
情報が届きやすいかな

アンケート票 サンプル4



アンケートのサンプルは各町内会が自由にダウンロードして編集できるように、ホームページでデータを公表しています。ぜひご活用ください。

役員の担い手・人材発掘に関する設問、町内会の人材発掘のための大切な設問です。

活動の支援をしてもらえる方に連絡先を記載してもらいます。

問9 ○○町内会では、役員の担い手不足と高齢化により、このままでは今後の町内会運営に支障をきたすことが懸念されます。活動の参加・サポートの可能性についてお答えください。(当てはまるもの3つまで○)

- ①体調や時間的制限などにより町内会活動(行事)に参加することは難しい
- ②時期・季節によっては、町内会活動を行うことができる
- ③見守り活動のサポートぐらいは協力できる
- ④町内会活動(行事)には参加するが、運営のサポートはできない
- ⑤事前にわかっていたら催しの企画や準備ならサポートできる
- ⑥事前にわかっていたら催しなど当日のサポート・手伝いならできる
- ⑦町内会の「お知らせ(広報・ニュースレター)」などを作る程度ならできる
- ⑧SNSでの町内会情報の発信ぐらいならできる
- ⑨役員をやってもよい(会長、副会長、部長など)
- ⑩その他()

問10 問9で、②～⑩までのいずれか(町内会の活動の参加・サポートが可能)とお答え頂いた方をお願いします。差し支えなければ、お名前と連絡先をご記入ください。

お名前: _____

連絡先: 電話か携帯 _____
メールなど(あれば) _____

注意!



町内会を知ってもらってから答えてほしいから、問9、問10は後ろのほうで聞くようにしてね!

アンケート票 サンプル5



アンケートのサンプルは各町内会が自由にダウンロードして編集できるように、ホームページでデータを公表しています。ぜひご活用ください。

見守りなど町内会が抱えている課題についての設問です。

問11 ○○町内会では、見守り活動を大切にしていきたいと考えております。見守りを必要とされますか。(必要か・必要としないに○ ※必要な場合はお名前も)

① () 必要 → 必要な方のお名前: _____
連絡先 (電話か携帯): _____
住所: _____

② () 必要としない

問12 町内会の運営に関して、今後どのようなあり方を望みますか。(当てはまるもの3つまで○)

- ① 役員の仕事の縮小や分担がされ、負担が軽減されている
- ② 仕事や家庭を優先することができる
- ③ 役員の輪番制による任期が必ず守られる
- ④ 同世代の人が役員をやっている
- ⑤ 自らの意見や提案が受け入れられる
- ⑥ 活動・行事は必要性の高いものが行われている
- ⑦ 外部の団体と連携して合理的な運営をしている
- ⑧ 情報共有に SNS やグループチャットも活用されている
- ⑨ その他 ()



町内会の今後のあり方などの設問です。

問13 町内会の活動・行事や運営などについてご意見があれば、自由にご記入ください。

(自由記入欄)

自由記入欄も設けます。

ご協力ありがとうございました。

皆さんに聞きたい質問をこの機会に!



役員で話し合って完成させよう!

アンケートを配布、回収しよう

事前に回覧板でアンケートの実施を周知します。
※実施しなくてもOK

アンケートと封筒を配布戸数分、準備します。

配布



配布を
ふりっぱーに委託した
町内会もあるよ。

対象世帯全戸に配布しましょう。
班長等にもご協力いただくと、負担が軽減します。
集合住宅への配布は、管理会社に一言説明し、
余計なトラブルを回避しましょう。



回収

※回答期限は10日～2週間後に設定

パターン①が一番
回収率が高いよ。
町内会の実態に応じて
方法を決めてね。

パターン① 班長宅に持ってきてもらう
パターン② 町内会会員の商店／コンビニに回収箱
パターン③ ポストに投函してもらう
(あらかじめ郵便局で返信用封筒の登録が必要) など



取りまとめ

アンケートを1か所にまとめましょう。
全員から回答をもらえなくても大丈夫！
※札幌市の支援で実施した同様のアンケートの回収率は
平均30%程度です。



会長・役員など

アンケートを集計、結果を知らせよう

1 アンケートを集計しよう

Excelが便利です。

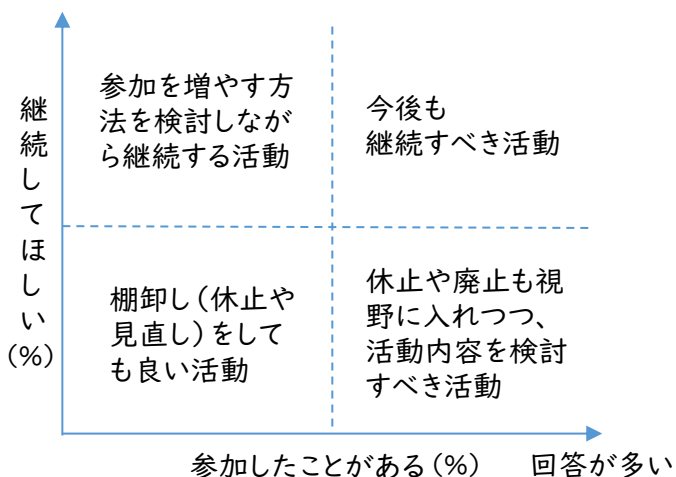
1つ1つ入力していくしかありません！

	問1	問2	問3	問4
1	40代女性	7年	1	
2	30代男性	3年	2	
3				

2 アンケートを分析しよう

町内会活動へのニーズの設問（アンケートサンプルでは問4）の「参加の状況」を横軸に、「継続の必要性」を縦軸にしたグラフにすると、棚卸しの参考になる分布図が作成できます。

回答が多い

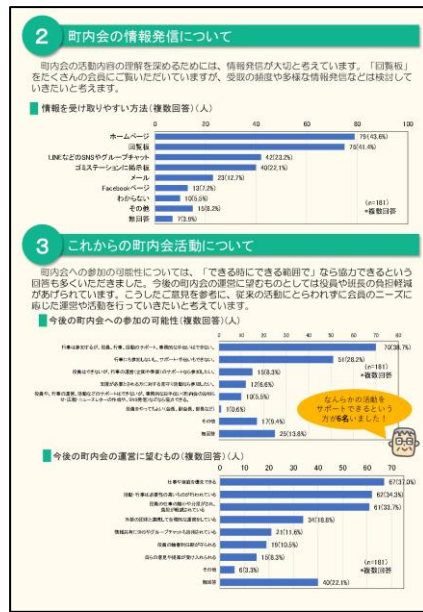
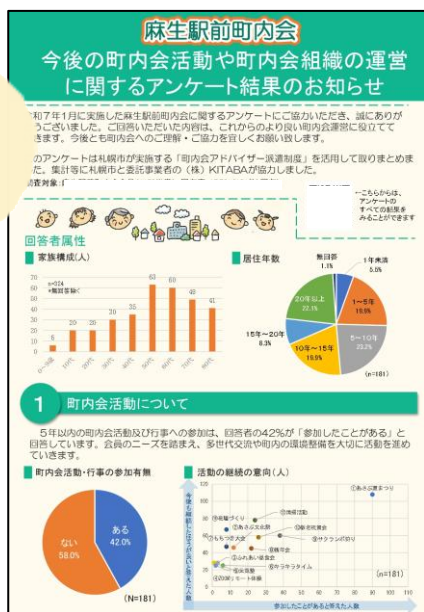


➡ 詳しくは17ページへ！

3 アンケート結果の発信

アンケート調査の結果は、住民にしっかり伝えましょう。

文字だけでなく
図を入れて！
A4版両面くらいだと
見てもらいやすいよ



3. アンケートをいかそう

アンケートの結果を町内会の活動や組織体制にいかすことが最も大切！
役員の皆さんの負担軽減や新たな活動を検討しましょう。

1

新たな人材を 確保しましょう

サポーターとして
つながりましょう

できることを
サポーターにお願いし
少しでもひとりの
負担を軽くしましょう

①の詳細は
次のページへ！



2

その活動、 ニーズありますか

ニーズの少ない活動は
棚卸しをしましょう

活動を棚卸しして、
役員の負担を減らすことが
担い手不足の対応には
必要です

3

新しい活動が 必要ですか

住民のニーズに対応した
新たな活動を検討します

町内会の必要性を
感じてもらうためには、
ここがもっとも重要！

②～④の詳細は
17・18ページへ！



4

組織のスリム化、 できませんか

活動の見直しと合わせ
部の統廃合や役員数削減を
検討します

体制や役員のスリム化で
運営しやすい
組織にすることも大切

(1) サポーターの仕組みをつくろう

アンケートで何か手伝えると回答してくれた方々をサポーターとして、町内会活動に関わってもらいましょう。

サポーターは「**できる時にできることを**」が基本です!

役員が全部をやらなくたっていいので、一部お任せすることも大切です。

ただし、すぐに役員候補と焦らないで!

少しずつ担い手を育成するつもりで始めましょう。

まずは顔合わせ

やれること、
やりたいことの確認

サポーターのリストの作成
LINEグループの作成

会則に
サポーター制度を明記

(会則の例)

サポーター制度 第〇条

- できる時にできることを支援するサポーターを置くことができる。
- サポーターは登録制とし、町内会活動の支援を出来る範囲で支援する。
- サポーターは、自分の意志で役員会などに参加することができる。

随時、協力を依頼

イベントごとや日頃の声掛けからサポーターを広げていきましょう



アンケートのお礼も込めて、連絡しよう!
アンケートの実施から時間をおかず
顔合わせをしよう。
無理な役員の勧誘は絶対ダメ!

サポーター聞き取りの
リストサンプル

得意なことや
やりたいことを
把握しましょう

参加しやすい日程を
聞いておきましょう

「朝日台活動協力隊」登録用紙

私は、町内活動において協力が必要な時、棟記協力隊にのみ下記の情報を提供します。

(1) 登録者名(対象は中学生以上)

組	班	氏名	連絡先(家族の代表)
家族1			
家族2			
家族3			

(2) 協力できる活動内容(〇で囲んで下さい)

①置餅り(慣習の供進手)	②置餅り(売店)	③ハロウィン(列車)	④餅つき大会(つき手)
⑤餅つき大会(餅まきの)	⑥朝日台公園(落ち葉集めの)	⑦バス通り花壇(水やり)	⑧福祉除雪(玄関先付近)
⑨交通整理(遊園小児童の登校時(通1区、朝8時前後))	⑩その他、(協力できることがあれば)		

(3) 協力する際の配慮事項ほか
(例) 平日は仕事のため、主日のみ協力できる

町内会役員

意思決定を行う
活動の企画・コーディネート



サポーター

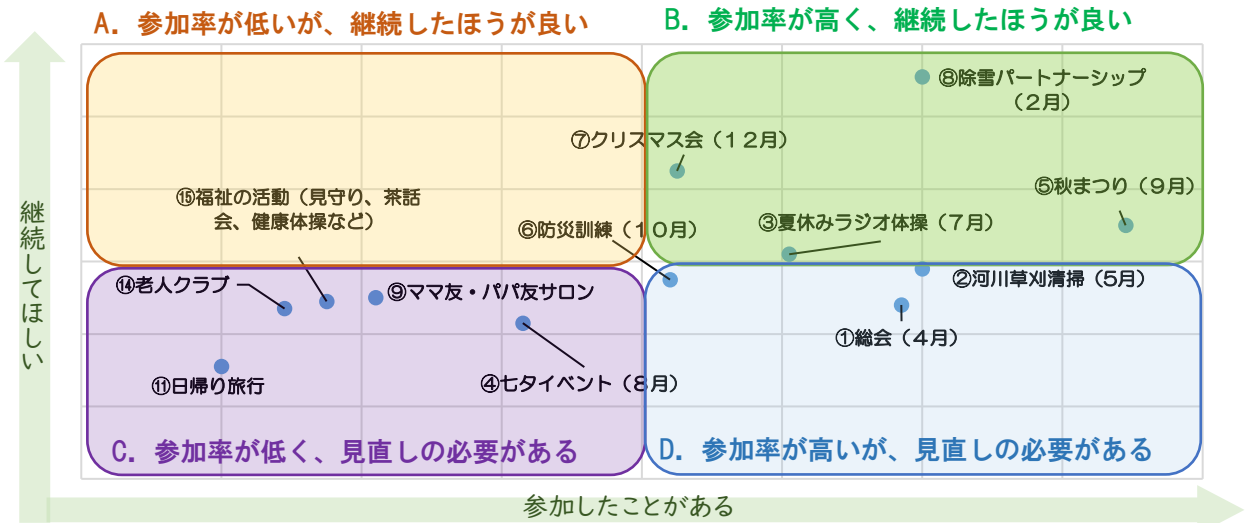
やれる時にやれることを
やりたいことを企画・運営

(2) 活動や体制を見直そう

アンケート結果から活動の棚卸しをしつつ、部の統廃合や役員数を見直しましょう。

たとえば、活動のニーズを聞いた設問（アンケートサンプルでは問4）の分析結果を見ながら、見直せるところがないか、みんなで意見を出し合うところから始めてみましょう。

回答が多い



回答が多い

うちの町内会、日帰り旅行はニーズが低いな・・・

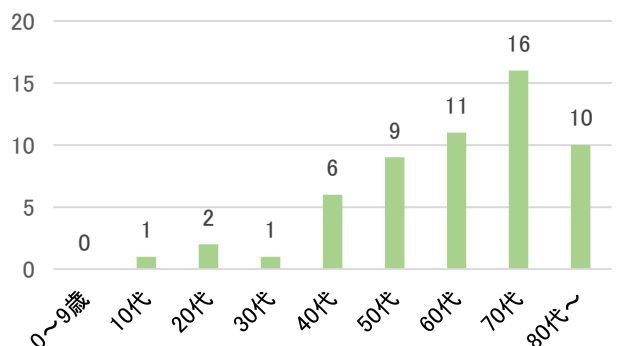


じゃあ今年でやめにして、代わりに、ニーズが高い子供向けイベントの方に力を入れてみない？

point

町内会活動のニーズでは、世代別に分析して試みるのが大切です。（右図の例参照）
世代によってニーズの違いがあるので、その結果を踏まえて今後の活動を検討しましょう。

日帰りバス旅行のニーズ



見直しのポイントは3つ!

1

活動の棚卸し

特に子育て世代を対象にした活動を検討しましょう。
役員負担が大きい行事、会員からのニーズはありますか？
一部の方しか参加しない行事はないですか？

2

新たな活動・ 仕組み

情報共有の仕組み・体制を検討することは重要です。
現状維持ばかりになってしまわないよう、会員の意見は積極的に取り入れ、まずはやってみよう!

3

部の統廃合を 検討しよう

地域が大切にしたいこと、町内会が今後目指す姿から、
優先する活動を考えましょう。
統廃合や役員数の削減ができませんか？

具体的にたとえば・・・

アンケート結果	見直し内容
世帯構成で 数年後に子どもが増えそうだ	子ども向けイベントを強化していこう
「回覧板を見ない」が半分以上	SNSで情報発信をしてみよう
パークゴルフは 一部のメンバーしか参加していない	町内会活動としてでなく、 サークル活動に移行する
女性だけ、青年だけなど 特定の人を対象とした活動が少ない	婦人部と青少年部を統合して 「交流推進部」1つにしよう
日帰り旅行は役員負担が大きい割に、 会員からのニーズが低い	行事を廃止しよう 担当部の役員は数を減らそう (または他部と合併しよう)

役員は実際は
どのくらい
必要かな



課題と方向性が
見えてきた!

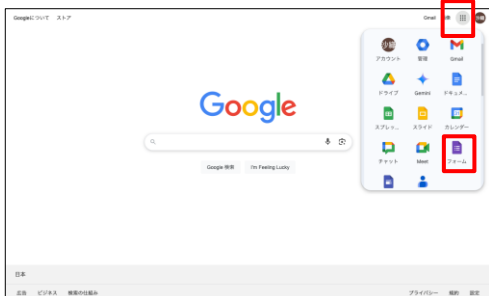



(参考) Googleフォームの作り方



Googleアカウントが必要です(作成は無料)。
アカウントがない方は、メールアドレスを準備して新たに作成するか、
既にアカウントがある人、または詳しい人に相談しましょう!



1



Googleアカウントにログインした状態で
画面右上の  マークをクリックします。
ここから「フォーム」を選択します。

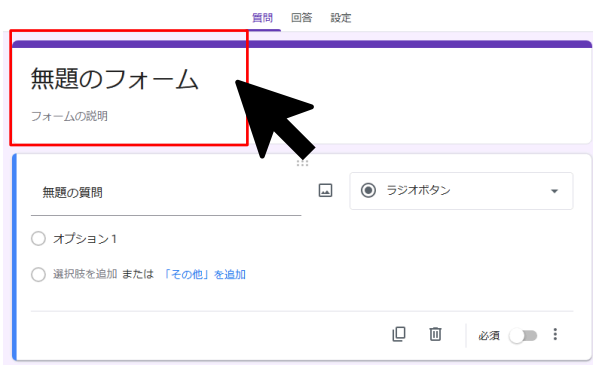
 を  Googleフォーム
をクリック を選択


2



「空白」と書かれた場所をクリック。
ここから新しいアンケートフォームを
作成することができます。

3

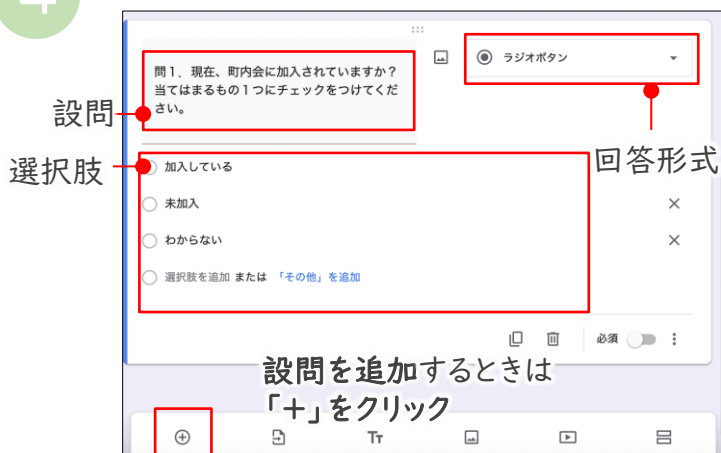


カーソル  を合わせクリックすると
文字が入力できるようになります。

上の段には、アンケートのタイトルと
説明書きを入力しましょう。

(タイトル例) ○○町内会アンケート

4



アンケートの設問部分を作りましょう。

まず、右上で「回答形式」を選択します。
町内会が好きな形を選びましょう。
なお、選択式や自由記述式なども
ここで選ぶことができます。

続いて、アンケートの「設問」「選択肢」を
入力していきます。

(次のページにつづく)



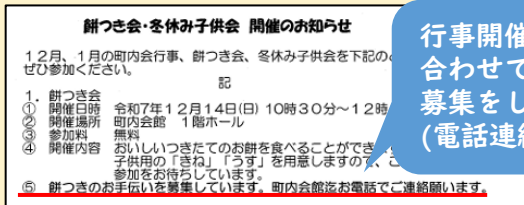
情報を発信してサポーター発掘 「たのしく」続けて、育てるサポーター

サポーターがいるからできる行事が
盛りだくさん

清田区 ライブヒルズ町内会 新藤 進一 会長

Q. どのようにボランティアやサポーターを集めていますか？

A. 行事ごとに無理のない形で声かけをしています。花壇整備、夏祭り、もちつき大会、子育てサロンなど、イベントごとにボランティアを募集しています。毎月のお便りに行事案内とあわせて掲載し、参加希望の方から電話でご連絡をいただく形です。



行事開催の告知と
合わせてサポーターの
募集をしています。
(電話連絡受付にて対応)

一度関わってくれた方は大切な存在です。各行事ごとにサポーターリストを作成し、次回以降も人手が必要な際に声をかけています。

Q. サポーターとのやりとりは、どのように行っていますか？

A. 行事ごとに担当役員が窓口となって対応しています。サポーターとの連絡や調整は、各行事の担当役員が管理しています。基本は、毎月のお便りを見て「手伝えます」と申し出があった方への対応です。一方で、人手が足りない場合には、過去のイベントごとに作成しているサポーターリストをさかのぼり、以前参加してくれた方へ声かけの連絡を行っています。行事単位で関係を積み重ねていくことで、サポーターの方にはできるときにできることを行ってもらうことで、無理のない協力体制ができています。

Q. サポーターの存在は、町内会活動にどんな影響がありますか？

A. 役員だけではできないイベントが実現しています。サポーターがいるからこそ成り立っているイベントは多く、役員だけでは難しい企画や運営が可能になっています。人手だけでなく、雰囲気づくりや参加者の安心感にもつながっています。「サポーターとして関わる人自身が楽しめる企画」にすることで、「自分にもできることがあれば関わりたい」と思ってくれる人は自然と出てくるのではないかと感じています。



サポーターリスト

名前	住所	連絡先	協力内容	年代
A	〇〇-〇〇	000-0000-0000	①②⑤	40代
B	〇〇-〇〇	000-0000-0000	②	50代
C	〇〇-〇〇	000-0000-0000	③	30代
D	〇〇-〇〇	000-0000-0000	③④	70代
E	〇〇-〇〇	000-0000-0000	④⑤	40代
F	〇〇-〇〇	000-0000-0000	⑤	60代

協力の方法・度合も
アンケート結果を
もとに記録しています。

サポーターは
行事別リスト管理で
必要な時にお声かけ



Q. サポーターへの謝礼や保険はどうしていますか？

A. 参加してくれたサポーターには、役員と同条件で交通費や飲み物・お弁当などを実費相当分を支給しています。「お願いする側・される側」という関係にならないよう、同じ立場で関わってもらうことを大切にしています。また、保険については「札幌市地域活動保険（地域のボランティア活動保険）」を活用しています。個々に保険加入をする必要がなくなり、サポーター・町内会双方の負担が大きく軽減されました。

地域活動保険
についての
詳細はこちら



Q. 活動の発信はどのように行っていますか？

A. デジタルを専門としたサポーターが中心となり、昨年公開している町内会のHPで情報を発信しています。HPでは毎月の町内会便りに加えて、行事の実施レポートなども掲載しています。最近ではイベントの参加者が増えており、HPを見たことがきっかけとなり参加した方もいると思うので、デジタル化の効果があると思っています。また、町内会便りにHPのQRコードを掲載し、HPにアクセスしやすいように工夫しています。今後は、町内会便りをより見てもらえるような仕掛けを考えていきたいです。



情報発信はパソコンが得意なサポーターにお任せしています。



ライブヒルズ町内会公式HPは右のコードから見られます。



Q. アンケートはどのように活用していますか？

A. アンケートを実施した際に、役員になってもよいという方がおり、実際に役員を引き受けてくれた方がいます。また、「役員までは難しいけれど、サポートならできる」という方も一定数いることがわかり、アンケートの実施も、お便りでの募集や個別の声かけとは違った意味で、効果的なサポーターの募集方法だと感じました。

アンケートを活用することで、これまでは町内会の活動にあまり関わることのなかった人と出会い、新たな担い手を発掘することができるため、アンケートは有効な手段だと思っています。

Q. 今後サポーター制度を活用してどのようなことに取り組んでいきたいですか？

A. サポーター制度を活用し、若者や子育て世代がより主体的に関われる体制づくりに取り組んでいきたいと考えています。具体的には、担い手の高齢化を踏まえ、町内会活動やイベントの継続に向けて若い世代の参画を促進し、HP運営なども複数人のサポーターで担える体制を目指します。また、子育て世代向けのイベント内容の充実を通じて参加者の年齢層を広げるとともに、これまで協力のあった高校のボランティア部に加え、今後は大学など地域の教育機関との連携も強化していきたいと考えています。



アンケートでサポーターを発掘！ いただいたアイデアを実現！



サポーターの一人ひとりができること、
得意なことを手伝ってもらっています。

白石区 菊水元町第四町内会 伊藤 力盛 会長
佐々木 昭男 副会長

Q.どうしてサポーター制度を導入されたのですか？

A. 役員の高齢化や、担い手の固定化といった課題を感じていました。役員だけで活動が続けていくことへの負担感があり、「とにかく何かきっかけをつくらなければ」という思いがありました。

そこで、町内会としてアンケートを実施し、サポーターを募集した結果、アンケートで4名、その後1名のサポーターが手を挙げてくれました。子育て世代や若い世代のサポーターも出てきてくれました。

気持ちが冷めないうちにと、アンケート後すぐに顔合わせ会を開き、町内会の活動紹介をしたり、サポーターができることや興味のあることを教えてもらう機会をつくりました。スピード感のある動きができたことで、今の関係性につながっていると思います。



サポーター顔合わせ会の様子

Q.サポーターには、どんな関わり方をしてもらっていますか？

A. その人の得意なことを活かせる内容をお願いしています。あまりイベントに参加できない方には、「花壇の水やり」をお願いしました。サポーターの方がこまめに水やりをしてくれたおかげで、その花壇はほかよりも生育がよく、とても助かりました。また、パソコン操作ができる方には今まで作成していた町内会だよりにイラストやデザインをいれてもらいました。

昨年ハロウィンイベントはイベントの企画から当日の運営まで、サポーターと一緒に取り組みました。せっかく手を上げていただいたので、サポーター一人ひとりのできること、得意なことを聞き取って、お願いするようにしています。

サポーターが編集をしている町内会だより▶



Q.連絡や調整は、どのようにしていますか？

A. 電話はほとんど使わず、LINEやメールが中心です。やはり、仕事や家庭を持つ方が多いため、「電話で急に呼び出さない」「返信を急かさない」ということを心がけています。LINEやメールでも「もし都合が合えば…」「難しければまた今度でも」という言葉を添えることで、断りやすく、断っても関係が悪くならない空気を大切にしています。

Q.ハロウィンイベントの実施に至るまでの経緯を教えてください。

A. 子育て世代のサポーターに「秋に子どもたちが楽しめるイベントがあったらいいですよ」と言われたことがきっかけでした。その後、担当の部で検討し、役員会で実施を決定しました。イベント当日に向けて、発案したサポーターを含めた実行チームで、月1回程度の打ち合わせを行いながら、企画を詰めていきました。ただし、初めての取り組みだったため、「大規模にしない」「仮装を強制しない」など、無理のない内容に絞りました。

Q.ハロウィンイベントに対する周りの反応はどうでしたか？

A. 当日のイベント自体は約1時間程度。子どもたちと一緒に町内を回り、事前に協力を依頼しているお家でお菓子をもらい、最後に記念写真を撮影しました。この写真を配布したところ、子どもたちが家で何度も話題にしてくれたり、保護者からも評判でした。また、サポーターからもいい思い出になったとの声をいただきました。子どもたちにお菓子を渡すことで、大人も元気になる良いイベントでした。



ハロウィンイベントの様子

Q.町内の事業者に対してもアンケート調査を実施されたそうですね。

A. 住民対象のアンケート調査をするタイミングと同時期に、町内の事業者を対象としたアンケート調査を実施しました。スピード感を大切に、協力的な回答をくれた事業者にはすぐに挨拶に伺いました。

来年ハロウィンイベントするなら、事業者との連携も展開できればと考えています。お店の隅をお借りして、お菓子をもらうスポットにするなど、小さな協力からつながりを作っていきたいです。協力いただいた事業者さんは町内だよりで紹介するなど、お互いにメリットのある関係性を築くことが理想と考えています。

Q.サポーターが「続く」理由はどこにあると思いますか？

A. サポーターが活躍する様子を町内会だより等を通じて、町内の住民の方にも知ってもらい、感謝を伝えることだと思います。誰でも、感謝されたり褒められたりすれば嬉しいものです。「あれ、すごく良かったよ」「見やすいつて言われてたよ」「助かった、ありがとう」というような住民の声や評判をできるだけサポーター本人に伝え、心の結びつきを持つことが大事だと思っています。また、サポーターの活躍を「これ〇〇さんがやってくれたんだ」と周りに言い広めています。褒められたり、認められた経験は、「次も関わってみような」という気持ちにつながっていくと思います。



Q.これからサポーターと連携していく町内会へ

A. 「担い手不足をとにかくなんとかしないといけない」という思いから、少しでも手伝ってくれそうな方や事業者がいればすぐに声をかけました。具体的な問いかけをしながら、役割を決めすぎないで断る自由を残す、というバランスが大切だと思います。小さな関わりを大切にそうした積み重ねが、結果として町内会を支える力になっていくと感じています。

無理のない関係づくりから、少しずつ、できることを増やしていきたいと考えています。



やってみたい気持ちを、行動につなげる

「イベント当日だけ」「できることだけ」
無理のない関わり方が、参加を広げています

白石区

白石中央第4町内会

中島 正晴 会長
サポーターの皆さん

Q.【中島会長】サポーター制度を始めたきっかけは何ですか？

A. 町内会活動に関わる担い手不足が大きな理由で、その解消のために、地域の皆さんとの関わり方を広げていきたいと思い、サポーター制度を始めました。町内会活動を続けていく中で、役員だけで運営することの負担感や多世代が集まるイベントの企画が難しくなってきたと感じていました。そこで、役員以外の方にも無理のない形で関わってもらえる仕組みとして、イベントの運営補助を中心としたサポーター制度を取り入れました。

Q.【中島会長】今後サポーターと一緒に取り組んでいきたいことはなんですか？

A. 今後は、イベントの運営補助だけでなく、企画段階から意見を出せる場を作りたいです。また、サポーターの方々の中には、イベント当日の参加は難しいものの、イベントチラシなどを作成できる人がいることがわかりました。そこで、得意分野（広報、写真、事務など）を活かしつつ、その方の都合に合わせて、活躍してもらえる役割を用意するといったことにも取り組んでいきたいと考えています。

Q.【サポーターの方々】どのようなきっかけで参加されていますか？

A. 「特別な理由があった」というよりも、「身近なきっかけがあった」ことで、サポーターとして町内会活動へ参加しました。

【具体的なきっかけ】

- ・役員や子どもの保育園でつながりのある知人などから直接声をかけられたから
- ・子どもが学校から持ち帰ったチラシでイベント（町内会活動）を知ったから
- ・子育てを通じて地域にお世話になっており、恩返しの気持ちから
- ・引っ越してきてから、地域とのつながりを作りたかったから
- ・最近町内会のイベントがおもしろそうに見えたから など

Q.【サポーターの方々】実際に町内会活動に参加した感想を教えてください！

A. 実際に参加してみて、「楽しかった」「顔見知りが増えてよかった」と感じています。※一方で、他のサポーターの方からは「何をすればいいのかわからなかった」や「LINEや口頭で当日の情報が共有されるなかで、自分に共有された情報が最新でなかった、情報が更新されていく中で最新の情報がわからなくなった」といった意見もありました。

Q.【サポーターの方々】どんな工夫があると今後参加しやすくなると思いますか？

A.「最新の情報がわかるように、またわかりやすくすること」や「役割ごとの情報の整理」など、「わかりやすい情報共有」があると参加のハードルが下がると思います。また、役員の方々が話しかけてくれることで、手伝いやすい雰囲気になるので、そのような声かけも継続していくといいと思います。

ほかに、「当日だけの参加」や「準備だけ」など、役割を細分化しつつ、柔軟な参加方法があるといいです。

Q.【サポーターの方々】イベントの企画段階から…とのことでしたがいかがですか？

A.イベントの全容がわかり、当日も動きやすくなっていいと思います。企画の段階から意見を出してみたいです。会員から募集した企画をいくつかを実施して、ベスト企画賞として表彰するのも楽しいのではないのでしょうか！

→【中島会長】僕もそういうことがしたかったので、是非やってみましょう！

Q.【中島会長】サポーターの方々の感想なども踏まえて、最後にサポーター制度を始める町内会へ一言お願いします。

A.小さな関わりから始めることが大切だと思います。最初から制度を完璧につくる必要はありません。「当日だけ手伝ってもらう」「できる方に声をかけてみる」そんな小さな一歩でも、確実に地域の力になります。無理のない関わり方を大切にしながら、一緒にできることを少しずつ増やしていく。その積み重ねが、町内会活動を支える大きな力になっていくと思います。

また、サポーターの皆様のお話を聞いて、町内会の雰囲気が重要であると感じました。私は、既存のイベントに取り組みつつ、他の町内会でどのようなイベントを実施しているのかに注目して、おもしろい取り組みを真似しています。それが、地域の皆様が楽しんでくれることにつながり、さらによい雰囲気をつくり、町内会活動に興味を持ってくれる方が増えるきっかけになっていくと思います。

2025 にこここ
夏まつり
8/3 日

場所 にこここ公園
13:00~18:00 小雨決行

13:00~ キッチンカー・ゲームコーナーオープン
14:00~ ジュニアヒップホップステージ
14:40~ ヒーローショー
15:10~ 大抽選会
15:30~ 子ども盆踊り
17:00~ 大人盆踊り

大抽選会
1等 2等 3等
おまけ 親子の玉手箱 賞品券
抽選券は15:00~18:00まで即日で販売!
抽選券200円
1人1枚! 先着500枚!

主催：白石中央第四町内会

ボランティアスタッフ募集!!

①会場設営 10:30~12:00 ②運営 12:30~15:30
③運営 15:30~18:30 ④会場撤収 18:00~19:00
●写真：高校生以上
運営にご協力いただける方には、ボランティア謝礼があります
参加申し込みやお問い合わせは、→QRからお願いします。(7/20締切)





町内会活動のヒント
担い手不足-アンケートの実施-

令和7年(2025年)4月発行

令和8年(2026年)4月更新(21~26P)



さっぽろ市
05-D02-26-976
R8-5-12

SAPPORO

